

大蔵村版

しんがた

新型コロナウイルス ワクチンの^て_び手引き

はじめに	このパンフレットで伝えたいこと	p 1
Step 1	ワクチンについて	p 2-4
Step 2	副反応とアナフィラキシーについて	p 5-6
Step 3	村民のみなさんにお願いしたいこと	p 7
Step 4	大蔵村でのワクチン接種のながれ	p 8-9
Step 5	Q & A	p 10-11



Ver 2021.3.15

文責：大蔵村診療所 深瀬 龍

発行：大蔵村新型コロナワクチン接種対策班



このパンフレットで^{つた}伝えたいこと

新型^{しんがた}コロナウイルスの^{かんせん}感染に^{そな}備える「ワクチン」

- ・新型^{しんがた}コロナウイルスワクチンは新型^{しんがた}コロナウイルスに^{かんせん}感染した^{とき}時に^{しょうじょう}症状をと^{かる}ても^{こうか}軽くする効果があります。
- ・ワクチンを^{せつしゅ}接種することで、新型^{しんがた}コロナウイルスへの^{かんせん}感染に^{そな}備えることができます。
- ・^{せつしゅ}接種による^{おも}重い^{がっぺいしょう}合併症は^{めった}めったにおきません。^{がっぺいしょう}合併症の^{かくりつ}確率は0.00025%～0.0005%と、とても^{ひく}低いです。
- ・^{ちゅうしゃ}注射したところが^{いた}痛んだり、^{ねつ}熱が^で出たり、^{ずつう}頭痛などの^{ふくはんのう}副反応は^{ほか}他のワクチンと^{おな}同じ^{ていど}程度におきます。
- ・過去にワクチンで^{かる}軽い^{ふくはんのう}副反応があった人も^{ひと}接種^{せつしゅ}できます。^{おも}重い^{ふくはんのう}副反応があった^{ひと}人は^{しんりょうじょ}診療所や^{びょういん}病院に^{そうだん}相談してください。
- ・ワクチンは^う打つことも^う打たないことも^{えら}選ぶことができます。このパンフレットの内容を^{ないよう}読んで、それぞれで^よ^{かんが}考えてみてください。
- ・ワクチンを^う打たない^{ひと}人への^{さべつ}差別や^{いじめ}イジメは^{ぜったい}絶対にやめましょう。

ワクチンについて

抗体を作るワクチン

ワクチンって？

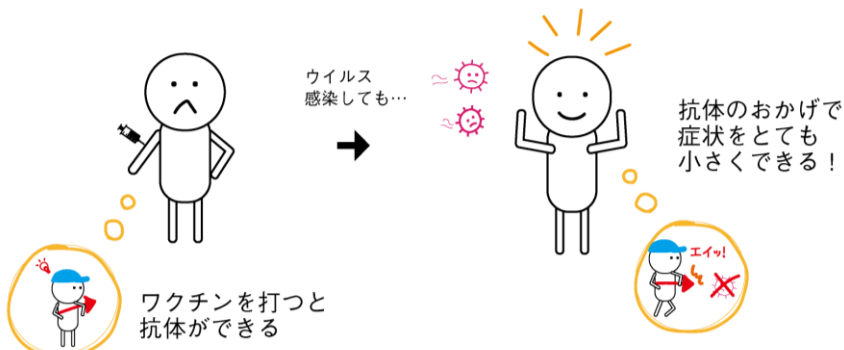
わたしたちの身体がウイルスに感染すると、ウイルスをやっつける「抗体」を作ります。抗体はウイルスをやっつけて、感染した身体を治してくれます。見たことがないウイルスの抗体を作るには身体にも時間が必要です。抗体ができるまでの間、わたしたちは熱を出したり、鼻水を出したりします。ウイルスに感染する前から抗体を準備しておけば、感染した時に抗体を用意できるようになります。



ワクチン接種はもっとも強力な予防法

すぐに抗体を出せばウイルスをすぐにやっつけることができるので、症状が軽くなったり、ウイルスで具合が悪くならない身体になります。「感染する前から抗体を用意」するために、行のがワクチン接種です。ウイルスをやっつけるための抗体はウイルスに感染しないと体内で作ることはできません。ワクチンを接種することで、ウイルスに感染しなくても抗体を準備することができます。

新型コロナウイルスが流行してから、わたしたちは手洗いや三密対策といった予防を行い、新型コロナウイルスにかからないように頑張ってきました。ワクチンはこれまで頑張ってきた予防法の中でも1番強力な予防法です。新型コロナウイルスの撃退に向けて、村民全員で取り組んでいきましょう。



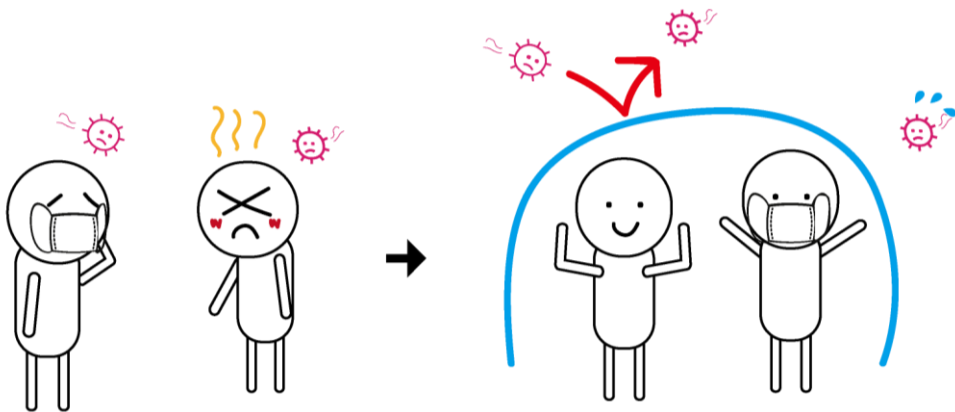
こうか ワクチンの効果

新型コロナウイルスのワクチンを接種しておくと、新型コロナウイルスに感染した時に、症状をととても軽くすることができます。新型コロナウイルスで怖いことは「具合が悪くなった時に治療法がない」ことです。ワクチンの効果で症状を軽くすることは新型コロナウイルスにかかったときに、具合が悪くなったり、亡くなったりすることを防ぐことにつながると期待されています。

新型コロナウイルスは重症化と後遺症が怖い

新型コロナウイルスは普通の風邪よりも亡くなる人が多く、感染したあとも後遺症が続き、悩む人が多い病気です。新型コロナウイルスのワクチンをできるだけ多くの人が接種することで、新型コロナウイルスで重症化する人を減らすことができるでしょう。

わたしたちの生活や仕事は新型コロナウイルスにより大きな影響を受けました。全国でワクチンを接種することで、この状況が変わる可能性があります。新型コロナウイルスを心配しなくてもよい日々を取り戻すために、ワクチン接種に協力することが求められています。



ウイルスにやられ続けた 2020 年

ワクチンで日常を取り戻せるかも？

| ワクチンの安全性について

新型コロナウイルスのワクチンは最先端の技術で作られたワクチンです。開発中から安全性について十分に研究されており、海外の多くの国でワクチンの接種が行われてもほとんど問題は起きていません。

ごく稀に、ワクチン接種後に大きな副反応が起きた方がいますが、100万人接種して2.5人～5人、確率にして0.00025%～0.0005%という非常に低い確率です。副反応が出ててもその場で適切な治療を受けることですぐに治り、ワクチンのせいで入院したり、亡くなったりした人は今のところ報告されていません。

短期間で作られたワクチンに不安を感じる方もいるかと思いますが、医者がワクチンの接種をオススメできるくらい安全なワクチンだとご理解ください。

| まだわかっていないこともあります

新型コロナウイルスについても、新型コロナウイルスのワクチンについても、まだわかっていないことがあります。

- ① 接種したら感染者がウイルスをばらまく量を減らせるか？
- ② 変異株に効果があるのか？
- ③ 15歳以下や妊婦に接種して問題がないか？
- ④ ほとんどないと言われていますが、長期的な副反応 など…

今後の研究で明らかになってくると思われます。わかっていないこともあるということを理解したうえで、ワクチン接種にご協力ください。

ふくはんのう

副反応とアナフィラキシーについて

副反応って？

ワクチンを接種した後に起きる、不快な症状を「副反応」といいます。ワクチンが身体の中で効果を出す際に出る症状です。3日以内に下記のような症状が出て、その後1日から2日で自然に治ります。

副反応はワクチンが身体できちんと効いている証拠です。過去に別のワクチンで副反応があった人も、新型コロナウイルスのワクチンを接種することは可能です。

打ったところの
痛みや腫れ



だるさ



頭痛



発熱



アナフィラキシーって？

ワクチンを接種した時にアレルギーの症状が出る人がいます。アレルギーの反応が強く、そのままにしておくと生命に問題がある症状のことを「アナフィラキシー」と呼びます。アナフィラキシーを起こした人はすぐにアドレナリン注射を打つことで治すことができます。

新型コロナウイルスのワクチンによるアナフィラキシーは、これまでのワクチンやお薬によるアナフィラキシーとほとんど同じ確率で起きます。100万人接種して2.5人から5人、確率では0.00025%から0.0005%という非常に低い確率です。しかも、その場で適切な治療を受けることですぐに治り、入院したり亡くなったりした人はいません。

アナフィラキシーが起きる確率

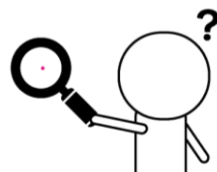
ハチ刺されによるアナフィラキシー 10%

1年間で交通事故を起こす確率 1%

アイドルと付き合える確率 0.0247%

飛行機事故で死亡する確率 0.0009%

新型コロナウイルスワクチンで
アナフィラキシーが起きる確率 0.00025%～
0.0005%



新型コロナウイルスのワクチンによる副反応はほとんどの方が経験されと思いますが、アナフィラキシーに遭遇する確率はものすごく低いです。安全最優先で作られたワクチンですし、何かあってもすぐに対応できる体制の中で接種を行う予定です。安心して接種を受けていただきたいと思います。

接種できない人

1回目の新型コロナウイルスのワクチン接種でアナフィラキシーが起きた人

気をつけて接種する人

過去に他のワクチンでアナフィラキシーを起こした人

例：全身に発疹が出て、病院で治療を受けたことがある

村民のみなさんをお願いしたいこと

ワクチンを打ちましょう

新型コロナウイルスの影響を受けた日々を変えるためには、ワクチンをできるだけ多くの方が接種することが重要です。

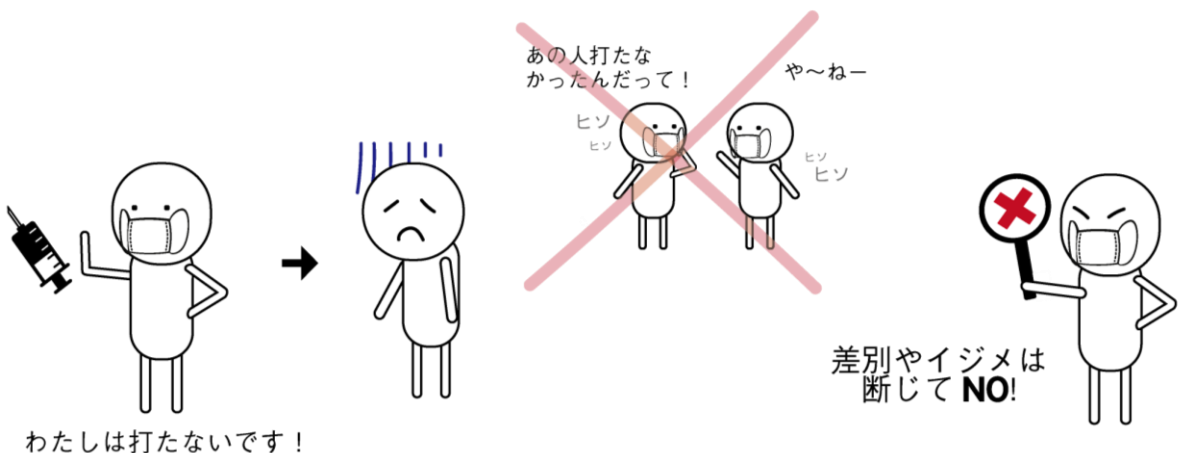
日本全体でワクチン接種を行うことで、新型コロナウイルスに感染して亡くなる危険や後遺症で悩む不安を大きく減らすことができます。これは高齢者や持病のある人だけでなく、病気のない元気な人、若い人にも当てはまります。

このワクチンは新型コロナウイルスが流行してから人類がようやく発明した「元の日常を取り戻すための特効薬」です。日常を取り戻すためにワクチン接種にご協力ください。

ワクチンを接種しないという選択も

今回用意された新型コロナウイルスワクチンは「任意接種」とされています。接種するかどうかは、わたしたち一人ひとりの判断に任されており、接種しないという選択もできます。ワクチンはあくまで「お願い」であり、接種しないことを選んでも罰せられたり、怒られたりすることはありません。

ワクチンを接種しないことで、その人を差別したり、いじめたり、後ろ指を指すことは断じてあってはなりません！



大蔵村でのワクチン接種のながれ

まずは65歳以上の方を対象に集団接種を行います。中央公民館などの指定の会場に集まっておいただき、ワクチン接種を行う予定です。住む地域ごとに日にちと時間、場所を案内しますので、「ワクチン接種のお知らせ」を確認してください。ワクチンの配達状況によって、変更になる場合があります。また、ご案内の日程でどうしても都合がつかない方は健康福祉課までご相談ください。

64歳以下の方については、ワクチンの配分状況に合わせて接種方法を検討していく予定です。

接種前

- ・接種予定日までの2週間は他のワクチンを打たないようにしましょう。
- ・県外や都市部への移動は避けましょう。
- ・接種当日の朝、体温を測定しましょう。37.5℃以上の発熱や風邪症状がある方は接種できませんので、村の相談窓口に電話してください。
- ・肩周辺に注射するので、Tシャツや襟ぐりがゆるい服など、肩を出せる服を着ましょう。
- ・予診票に抜けがないよう、必ずボールペンで記載してください。
- ・持ち物（接種券、予診票、保険証、マスク）を用意しましょう。

接種

- ・体温測定と予診票の確認を行ってから会場内に移動します。
- ・接種の順番が近づいてきたら、上着などをぬいで肩を出せる状態にしておきましょう。
- ・接種の順番がきたら、肩を出して注射を受けます。

マスクをつける



襟ぐりから肩を出す または



そでをめぐり上げる

せっしゅご 接種後

- ・注射した部分は揉んだり、押さえたりする必要はありません。すぐに服を直しましょう。
- ・アナフィラキシーがないか15分間の体調観察を行います。予診票の内容によっては30分間の観察をお願いする方もいますので、その際はご協力ください。
- ・体調に変わったことがあれば、お近くの医療スタッフに声をかけてください。
- ・問題がなければ忘れ物がないようにして帰宅してください。
- ・副反応が心配な方は診療所にご相談ください。

いえ かえ ぐ あい わる 家に帰ってから具合が悪くなったときは？

発熱やだるさ、頭痛といった症状は副反応ですので、数日経過をみて構いません。

アナフィラキシーの可能性のある症状は・・・

- ・息苦しさ
- ・血圧が下がる（失神・めまい）
- ・お腹の症状（下痢・腹痛・嘔吐など）
- ・皮膚の症状（発疹・かゆみ）

これらの症状が2つ出ている場合、アナフィラキシーの可能性がります。

平日の日中は大蔵村診療所へ、それ以外の時間帯は下記の相談窓口にご相談ください。

やまがたけんきゅうきゅうそうだん 山形県救急相談

電話番号 #8500 / 023-633-0799

受付時間 毎日19:00～翌朝7:00

しんじょうしやかんしんりょうじょ 新庄市夜間診療所

電話番号 29-6300

受付時間 月曜日～土曜日18:30～21:00/日曜日・祝日 8:30～11:30/13:00～16:30

やまがたけんりつしんじょうびょういん 山形県立新庄病院

電話番号 22-5525

受付時間 24時間対応

Q&A

新型^{しんがた}コロナウイルスワクチンについて、これってどうなの？それってどうなの？という疑問^{ぎもん}に答え^{こた}ます。

| 治療^{ちりょうちゆう}中の病気^{びょうき}があるけど、接種^{せっしゅ}は大丈夫^{だいじょうぶ}？

入院^{にゅういん}が必要な病気^{ひつよう びょうき}でなければ接種^{せっしゅ}に問題^{もんだい}はありません。心配^{しんぱい}な方はかかりつけ医^いに確認^{かくにん}をおすすめします。

| 花粉症^{かふんしょう}や食べ物^{た もの}のアレルギー^{アレルギー}があるけど、接種^{せっしゅ}は大丈夫^{だいじょうぶ}？

他のアレルギー^{ほか}があっても接種^{せっしゅ}に問題^{もんだい}はありません。

| がんや免疫^{めんえき}の病気^{びょうき}、HIV^{HIV}があっても、接種^{せっしゅ}は大丈夫^{だいじょうぶ}？

接種^{せっしゅ}には問題^{もんだい}ありません。大きな病気^{おお びょうき}を抱^{かか}えている方は新型^{しんがた}コロナウイルスに感染^{かんせん}した時^{とき}に症^{しょう}状^{じょう}が悪化^{あつか}しやすい可能性^{かのうせい}があります。積極^{せっきよく}的にワクチンを受^うけることが勧め^{すす}められています。

| 妊娠^{にんしん}を考^{かんが}えていますが、接種^{せっしゅ}は大丈夫^{だいじょうぶ}？

アメリカではワクチンは妊娠^{にんしん}に影響^{えいきょう}しないと発表^{はっぴょう}されています。日本国内^{にほんこくない}のデータはありますが、ワクチンの仕組みからも問題^{もんだい}ないと考^{かんが}えられます。

| 子どもは接種^{せっしゅ}を受けなくていいの？

15歳^{さい}以下^いにワクチン接種^{せっしゅ}を行^{おこな}った研究^{けんきゅう}が少^{すく}なく、今回はワクチン接種^{こんかい せっしゅ}の対^{たい}象^{しょう}に入^{はい}りませんでした。同居^{どうきょ}している大人^{おとな}がワクチンを受^うけることで、ワクチン^うを打^うてない子どもたち^{こ まも}を守^{まも}ることにつながります。

| ワクチン^うを打^うったら、もう安心^{あんしん}？

ワクチン^うを打^うつと感染^{かんせん}した時の症^{しょう}状^{じょう}を小^{ちい}さくすることはできますが、症^{しょう}状^{じょう}がないままウイルスをばらまいてしまう可能性^{かのうせい}があります。ワクチン^うを接種^{せっしゅ}したあとも、手洗^{てあら}い・マスク^{みつ}・3密^{みつ}を避^さけるなどの感染^{かんせん}予防^{よぼう}を続^{つづ}けることが必要^{ひつよう}です。

ワクチンを受けるのは1回だけじゃダメ？

研究の結果、1回の接種だけでは効果が出ないことがわかっています。必ず、2回受けるようにご協力ください。

歳をとっていたり、色々な病気をもっているので、ワクチン接種が心配

新型コロナウイルスのワクチンは安全性の高いワクチンです。65歳以上の高齢者や肥満の方、喫煙している方、治療中の病気がある方は新型コロナウイルスに感染した時に体調が悪化しやすいため、積極的にワクチン接種を受けていただくことをオススメします。



65才以上の高齢者



肥満



喫煙者



治療中の病気がある

その他

もっと詳しく知りたい方へ

コロワくんの相談室 (LINEbot)

知りたいことを
AIが教えてくれます



こびナビ (ホームページ)

ワクチンについて
わかりやすく解説しています



相談窓口

接種の制度・心配なことについて相談 健康福祉課 ☎ 75-2104
体調や病気についての相談 大蔵村診療所 ☎ 75-2355